



花巡り 11月15日

百草園は、日野市百草に戦国時代の初め頃建立された松連寺が、江戸時代に徳川家康の長男、信康追悼のために再建され、その後時代を経て京王電鉄株が買収、整備され京王百草園になりました。梅の花で知る人ぞ知る庭園です。

園のアクセス案内には駅から徒歩10分とありますが、これがなかなか手ごわい10分でした。幹線道路を折れた所から坂道が続く園に近づくにつれて、その傾斜もどんどん増していった坂で、園の受付の方の最初の言葉は「ご苦労様でした。」です。

園内は1月の日本水仙から始まり、秋の曼殊沙華ホトトギスなどほぼ年間を通して花を楽しめるそうですが、私たちが伺った11月も半ばとなるとほとんど花は見うけられませんでした。ちょっと早めに咲きだした日本水仙とそろそろ色づき始めますよーという紅葉が見られた程度でした。でも、お天気にも恵まれ見晴台から眺めた都心、爽やかな空気、こじんまりとしながら整った庭園で素敵なお散歩の時間でした。

